

対応OSと必須ソフトウェア

HULFT-SAN for Windows Type WIN-ENT (Ver.6.3.5C)

↓ HULFT-SAN for Windows Type WIN-ENT (Ver.6.3.6)

2013年10月03日以降適用

OS	CPU	備考
Windows 2000 Professional (*2)	x86	必要となる対応ストレージ、SAN 転送通信基盤製品については欄外をご確認下さい。(*1)
Windows 2000 Server (*2)		
Windows 2000 Advanced Server (*2)		
Windows Server 2003, Standard Edition		
Windows Server 2003, Enterprise Edition		
Windows Server 2003 R2, Standard Edition		
Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition		
Windows Server 2008 R2, Standard Edition(*3)	x64	FAL 転送のみの対応となります。

HULFT HTTP Server の対応 OS は上記 OS と共通となります。

HULFT-SAN for Windows Type WIN1 (Ver.6.3.5C)

↓ HULFT-SAN for Windows Type WIN1 (Ver.6.3.6)

2013年10月03日以降適用

OS	CPU	備考
Windows 2000 Professional (*2)	x86	必要となる対応ストレージ、SAN 転送通信基盤製品については欄外をご確認下さい。(*1)
Windows 2000 Server (*2)		
Windows Server 2003, Standard Edition		
Windows Server 2003 R2, Standard Edition		
Windows Server 2008 R2, Standard Edition(*3)	x64	FAL 転送のみの対応となります。

HULFT HTTP Server の対応 OS は上記 OS と共通となります。

(*1) HULFT-SAN 各製品は下記のいずれかの SAN 転送通信基盤ソフトウェアが別途必要となります。下記ソフトウェアの対応 OS 等、詳細につきましては、各ベンダー様にお問合せ下さい。

なお、SAN 転送用のストレージにつきましては、下記ソフトウェアに対応しているストレージとなります。

- ・FAL HULFT Option (株式会社日立製作所)
- ・RapidXchange HULFT Option (株式会社日立製作所)
- ・Cross-Os FileExchange HULFT Option ... (株式会社日立製作所)
- ・XL データムーバ (富士通株式会社)

(*2) 同梱の「HULFT-DataMagic」をご利用の場合は SP4 以降の適用が必要となります。

(*3) Windows が提供するソフトウェアエミュレータ(WOW64)上での動作に対応します。